

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	職業を理由とした県外との転出入数(政策11) 日頃から災害に対する備えをしている市民の割合(政策13) 地域団体・市民団体の活動の推進(政策1)	作成日	R8.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	秋葉区の魅力や暮らし方をブランド化して区内外へ発信することにより、移住促進を図るとともに、区民の地域に対する愛着・誇りを育むこと、また、市民活動に取り組む新たな人財を発掘・育成・活用することで、秋葉区に住んだ人と、住んでいた人が『住んで良かった』と言える、思えるよう取り組みます。	政策11-1-① 政策11-1-③	移住検討者を対象とした相談会や体験会の開催(3回) 移住コンシェルジュの人的ネットワーク構築と会議開催(12回)	15回		・アキハスムプロジェクト	・AKIHA移住コンシェルジュによる移住検討者への相談対応のほか、秋葉区の魅力や特色を市HPやSNSにより情報発信します。 ・主に首都圏の大学生を対象に、農業や産業体験などを組み込んだ「フィールド実習ツアー」の実施を念頭に、加えて祭りなどの地域の伝統行事にも参加してもらうなかで、多面的に秋葉区の魅力を伝えることにより、学生の理解と愛着を深め、継続的な交流や再訪といった関係人口の拡大、そして将来的な移住検討につなげます。 ・移住者や関係人口とのネットワークを構築し、情報の共有・交換の円滑化を図ることで、移住検討者からの相談や移住後の相談への対応を一層強化します。			
2	秋葉区内を走る区バス・金津線・下新線について、こどもや若者が気軽に利用できる機会を創出し利用促進を図ることで、地域全体で支える持続可能な公共交通ネットワークを構築します。	政策14-1-②	対象路線バスを利用した学生の乗車人数	5,000人以上		・こども・若者公共交通乗車促進事業	・対象路線バスの運賃を、中学生以上の学生を100円、小学生を50円で乗車できるようにします。 ・利用促進を図るため、区内の学校にチラシを配布し、区だよりやSNSなどでモデルプランを掲載します。			
3	コミュニティ協議会が作成した「コミュニティ未来ビジョン・アクションプラン」の実現に向けて、各コミュニティ協議会と協働で取り組みます。また、来年度の未来ビジョン見直しに向け、これまでのアクションプランを実績を総括し、次期ビジョンへと繋がります。	政策1-1-① 行財3-2-②	地域コミュニティ未来ビジョン実践サポートプロジェクト・きらめきサポートプロジェクトなど、地域での取組実施数	11事業		・秋葉区地域コミュニティ未来ビジョン ・きらめきサポートプロジェクト ・感謝の集い	コミュニティ協議会が作成した「秋葉区地域コミュニティ未来ビジョン」の実現、また、地域の課題解決につながる事業を広く募集して主体的な取り組みを促す「きらめきサポートプロジェクト」に、自治協議会と協働で取り組みます。			
4	「安心安全なまちづくり」を推進するため、災害発生時に備えた対応の強化に取り組めます。	政策13-1-① 行財3-2-②	情報連絡体制を整備したコミ協数	9団体以上		秋葉区一斉防災訓練	災害が発生した事を想定して、複数の伝達手段で情報を発信する秋葉区一斉防災訓練を実施します。また、訓練を通じ、コミ協と自治会・町内会間の情報連絡体制の整備を推進します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	適正な事務執行の確保と総合的な案内を実践するため、係横断型の研修を実施し、市民対応の質の向上を図ります。	行財1-1-①	係内研修の実施	各係6回以上		係内研修の実施	係ごとで引き続き現況に合った業務手順書作成見直しを行い、係内研修を通して業務の共有を図り、窓口サービスの一元化に取り組みます。		
2	日常業務の改善を進めるとともに、効率的な業務を行うため、職員提案を促し窓口業務の改善に努め、市民満足度の一層の向上を図ります。	行財1-1-①	窓口アンケートの実施 窓口アンケートの平均点(点)	アンケート平均点 4.47点(R7実績)以上		窓口アンケートの実施	窓口アンケートにより、市民ニーズを把握し市民満足度の向上を図ります。		
3	ゴミの無いきれいな生活環境の保持に努めます。	政策16-2-②	パトロールの実施	12回以上		きれいな生活環境の保持	不法投棄防止に向け、重点監視地点のパトロールを定期的 に実施し、ごみの無いきれいな生活環境の保持に努めます。		
4	市民の利便性向上に寄与するとともに、督促などの事務処理の軽減による業務効率化を図ります。	行財1-3-①	国民健康保険料督促割合	督促割合 7.26%(R7実績)以下		口座振替の利用促進	国民健康保険加入時等に口座振替利用を推進し、督促割合の低減による収納率向上及び業務効率化を図ります。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・市民の声をしっかりと聞く体制が整っていると思う市民の割合 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	小須戸出張所			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標				主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待にこたえられるよう、職員の市民対応の質を向上させ、市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	・職場内研修の実施 ・専門研修への参加	・職場内研修6回 ・専門研修延べ6人以上		・窓口対応力向上研修 ・スキルアップ専門研修	・職員が相互に講師を務め各制度への理解を深め対応力を向上させる。 ・区民生活課などが主催する専門研修に参加し各制度の理解を深める。			
2	自主防災組織による防災訓練の実施など、幅広い世代が参加する地域防災活動を支援します。	政策13-1-①	・実施に向けた検討会への参加 ・地域住民や自治会が参加するコミ協主体の訓練の実施	・全検討会及び訓練への参加 ・地域住民や自治会の訓練への参加		・2コミ協防災訓練実施支援 ・小須戸コミ協11月20日(予定) ・山の手コミ協実施未定	・各種訓練内容へのアドバイスなど円滑な実施を支援。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	子ども真ん中の秋葉区づくりを実現するため、既存施設を有効活用し、児童福祉法に基づく秋葉区初の児童館を整備し、子ども達がいつでも自由に利用できる遊びや学びの場を提供します。	政策4-1-① 政策4-1-⑤ 行財1-1-① 行財3-2-②	・児童館設立準備委員会の開催 ・児童館運営協議会の開催	8回 (準備委員会5回・運営協議会3回)		・児童館設置事業	・秋葉区初の児童館を整備するにあたり、利用者である子ども達やその保護者の意見を反映させるため、設立準備委員会を開催し、広く意見を取り入れながら準備を進めていきます。 ・また開設後も運営協議会を開催し、利用者や地域の関係団体の意見を取り入れながら、児童館の適正な運営を図っていきます。		
2	子ども真ん中の秋葉区づくりを実現するため、既存施設を活用し、地域コミュニティ協議会と連携を図りながら、地域の子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所づくりを推進します。	政策4-1-⑤ 行財3-2-②	居場所に参加する1回当たりの児童・生徒の平均人数	30人 (合計1,350人)		・アキハ移動式こどもの居場所づくり事業	・各地域のコミュニティ振興協議会、小・中学校等と連携しながら、既存施設を活用し、安心・安全に過ごせる身近な地域での居場所づくりを行い、子どもたちに様々な遊びや学びを提供します。		
3	健康と要介護状態の間であるフレイルを予防するため、地域の茶の間に出向いて、フレイル予防講座を実施し高齢者の健康寿命の延伸を図るとともに、地域団体と協力・連携しラジオ体操の普及に取り組めます。	政策7-1-①	フレイル予防事業の参加延べ人数	1,400人		・地域ぐるみで体も心もいきいきフレイル予防	・地域のお茶の間等でフレイル予防の普及啓発を行います。 ・地域のイベント等でラジオ体操等の運動普及を支援します。 ・運動普及のための住民サポーターへの研修を行います。		
4	「人がつながり、ともに支えあう、やさしいまち」の実現に向け、お互いを思いやる心、地域でともに助け合う心、自然にも人にも優しい心を育み、誰もが笑顔ではつらつと暮らせる地域福祉の展開を目指します。	政策7-1-② 政策7-2-① 行財3-2-②	地域福祉活動計画作成のため、地域別座談会への参加回数	11回		・第4期地域福祉計画の作成	・地域福祉計画と地域福祉活動計画が相互に補完・連携できるように社会福祉協議会と連携し、地域の課題と次期目標を地域の皆さんと協働しながら策定します。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・観光入込客数 ・農業産出額推計値 ・新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R8.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	政策5-1-②	Akihaマウンテンプレイパークの子どもの1日平均利用者数(人)	39人		・里山未来創造事業	里山にある秋葉公園の自然を活かした、子ども達が自由に遊べる場「Akihaマウンテンプレイパーク」を開設します。 ・インフルエンサーやSNSを活用した子育て世代への発信力の強化			
		政策10-1-②	観光案内所「あ！キハ」1日平均利用者数(人)	73人		・アキハ「鉄道物語」	JRや商店街連合会、観光協会、鉄道資料館と連携した観光案内所(新津駅東口)を開設します。 ・レンタサイクルの貸し出し ・鉄道資料館との連携企画の実施 ・鉄道に関連した取り組みや事業への支援 ・鉄道サミットの開催			
2	稼げる農業の実現に向けて、生産者や関係団体と連携し、国産の需要が見込まれる麦類への作付け転換を進めることで、水田を有効活用して収益の確保を図ります。	政策9-1-⑤	麦類(大麦・小麦・もち麦)の栽培面積(ha)	36ha		・アキハ大麦・小麦・もち麦推進	小麦の会や生産者による研修会等の開催を支援するとともに、消費拡大につなげる取組を実施します。 ・イベント出店 ・小学校総合学習や学校給食 ・商品開発 ・パンまつり			
3	花木関係団体との連携による販路開拓やターゲットに合わせた各取組を展開します。	政策9-1-⑤	花木関係団体との連携による販売促進事業数	4 事業		・花まる鉢花推進事業 ・園芸推進事業	各種関係団体との連携によるイベント展示や商談会等、花きの知名度向上にかかわる取り組みを実施します。			
4	新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。	行財3-2-③	大学等との連携事業数	8 事業		・新潟薬科大学等との連携事業	新潟薬科大学等の教員、学生との連携による事業を実施します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R8.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課		評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	市民からの苦情や要望等に対し、早期対応と適切な情報提供を行います。	行財1-1-①	通報等に対する24時間以内対応率(%) (途中経過説明を含む) 工事要望の進捗状況説明(回)	100 11		交通網の整備と持続可能な地域交通の確保	・道路や公園の異常箇所の修繕 ・工事要望の対応方針説明 ・除雪状況の情報提供		
2	新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を秋葉区SDGSTライとして市民と協働で行います。	行財3-2-②	参加人数(人)	400		人と自然が調和した美しい景観の保全	・市民と協働で遊歩道周辺や秋葉公園の除草や刈払いを実施 ・リニューアルコンセプト(案)を基に、地域関係者と一緒に、「にぎわいゾーン」を中心とした活性化や利便性向上に向けた検討を進めています。		
3	工事・委託の早期発注に努め、上半期発注率の向上を図ります。		上半期発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	80		交通網の整備と持続可能な地域交通の確保	・道路や公園の維持及び整備工事の発注 ・設計や管理業務委託の発注(維持係24件 まちづくりG24件)		
4	職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため、各種研修などへ積極的に参加し情報共有を図ります。	行財1-4-①	3回以上の研修への参加人数(人) 課内研修の実施(回)	25 6		職員のキャリア育成、能力開発	・専門分野の土木技術研修や市主催の職員研修などへの参加 ・課内研修などで他の職員へフィードバック		